

施設名	岡山県青少年教育センター閑谷学校
施設所在地	備前市閑谷784

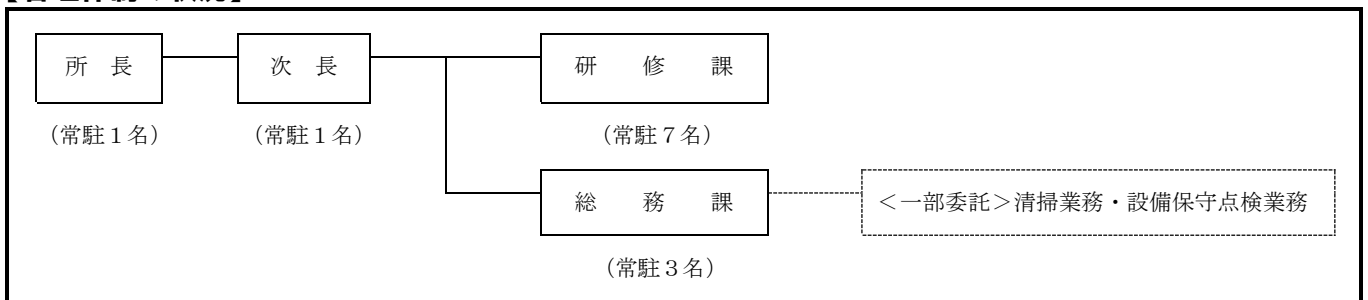
**【指定管理者の概要】**

名称	公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会	代表者	理事長 國友 道一
所在地	備前市閑谷784		

**【指定管理の概要】**

指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの施設等の維持管理に関すること。</li> <li>・センターの施設等の利用の許可に関すること。</li> <li>・センターの運営に関すること。</li> </ul>		

**【管理体制の状況】**



**【利用等の許可の状況】**

(単位：件)

		施設利用		合計
許可 件数	5年度	297		297
	4年度	269		269
	増減	28		28

**【維持管理の業務の実施の状況】**

項目	内容
施設等の維持管理業務	・維持運営業務 ・保守点検業務 ・清掃業務 ・警備業務
施設利用許可業務 (4月～3月)	施設利用 (297件) 〔内訳〕 小学校 37件 中学校 67件 高等学校 12件 大学・一般 181件
自主企画事業	計8事業 〔主な内容〕 ・親子のふれあいin閑谷 ・このゆび☆とまれ (年2回) ・宿題合宿in閑谷 ・キッズチャレンジキャンプin閑谷 ・エンジョイキャンプin閑谷 ・閑谷マルシェ ・ものづくり名人になろう！ ・親子でアウトドア料理in閑谷

**【利用料金の収入及び減免の状況等】**

(単位：円、件)

	施設利用料		合計
収入額	6,706,525		6,706,525
利用件数	297		297
減免額	165,100		165,100
減免理由	要保護又は準要保護の認定を受けている児童生徒等		

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		5年度	対前年度増減額	4年度	備考
収入額 A		95,059,117	4,111,649	90,947,468	5年度収入額 その他の主なもの ・預金利息 127円
内 訳	指定管理料	82,439,000	△1,216,000	83,655,000	【主な増減内容等】 (収入) 電気代高騰による指定 管理料追加措置分の減 △1,601,000円 施設利用料の増 3,047,818円 研修収益の増 1,438,970円 電気利用効率化促進対 策事業費の減 △220,000円  (支出) 消耗品費の増 1,287,290円 寝具クリーニング代等 の増 774,466円 光熱水費の増 637,054円 研修費の増 486,300円
	利用料金収入	6,706,525	3,750,098	2,956,427	
	事業収入	5,913,465	1,797,537	4,115,928	
	その他	127	△219,986	220,113	
支出額 B		95,057,317	4,111,546	90,945,771	
内 訳	人件費	48,247,177	273,106	47,974,071	
	管理運営費	40,139,596	3,061,192	37,078,404	
	事業費	6,670,544	777,248	5,893,296	
	その他	0	0	0	
収支額 A-B		1,800	103	1,697	
県への納入金		—	—	—	
実質的な県負担額		82,439,000	385,000	82,054,000	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目	区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B 事業計画に沿って適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B 関連法令に基づく義務が適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B 危機管理マニュアルに基づき、安全性を確保した管理運営が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B 施設・設備の紛失等はなく保守管理等の適切な管理が履行されていた。
導入効果	①利用状況	C 利用件数、利用者数ともに増加したものの、令和元年度以前と比較して低い水準となった。 【利用件数】 R5： 297件 ← R4： 269件 (R元： 308件) 【利用者数】 R5： 27,097人 ← R4： 20,639人 (R元： 38,397人)
	②収支状況	B 事業計画に従い効率的な事務執行がなされていた。
	③サービス向上	B 利用者アンケートの活用や研修プログラムの検討、指導方法の見直しを行い、よりよい研修となるよう研修主催者へ助言を行い、サービス向上に積極的に取り組んだ。
管理運営業務全般	B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上の取組もなされた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。